

川中地区 昔の地名歴史年表（明治・大正時代）

西 暦	和 暦	行政区画の変遷	文 献
1867年 }	明治維新	しばらくは、旧藩庁の下に庄屋を置き、三支配としていた。 ・有富支配 有富村・石原村・延行村 ・熊野支配 伊倉村・稗田村・熊野村・垢田村 ・綾羅木支配 綾羅木村	
1869年			
1870年	明治3年	三支配の制度が改められ、二支配とした。 ・綾羅木川以北 有富支配（綾羅木・有富・延行・石原）4ヶ村 ・綾羅木川以南 熊野支配（伊倉・稗田・熊野・垢田）4ヶ村	
1872年	明治5年	以北・以南に官選の戸長を置いた。	
1875年	明治8年	大小区制が実施され、綾羅木川以南・以北の2支配を合わせて一区域とし、綾羅木・有富・延行・石原・伊倉・稗田・熊野・垢田の8ヶ村で第16大区第5小区が編成された。1名の戸長を置いて統制した。	『山口県大小区村名書』 『山口県大小区村名明細書』
1879年	明治12年	郡区町村編成法実施によって、もとの8ヶ村に復している。 ・綾羅木村 綾羅木村一村にて戸長役場を置く。 ・連合戸長役場 伊倉・稗田・熊野・垢田（四ヶ村戸長役場を伊倉村字下川に置く） ・連合戸長役場 延行・有富・石原（三ヶ村戸長役場を有富村字殿屋敷に置く）	
1882年	明治15年	綾羅木・有富・延行・石原・伊倉・稗田・熊野・垢田の8ヶ村に加えて大坪・武久・幡生・後田・棕野を合わせて、伊倉村外13ヶ村連合戸長役場を伊倉に置いた。	
1883年	明治16年	熊野村戸数 43戸 228人 垢田村戸数 146戸 766人 稗田村戸数 47戸 227人 綾羅木戸数 100戸 437人 有富村戸数 66戸 280人	「徴発物件一覧」
1884年	明治17年	伊倉村外13ヶ村連合戸長制度は廃止され、綾羅木・有富・延行・石原・伊倉・稗田熊野・垢田の8ヶ村のみ一区域とし、伊倉村に戸長役場を設け、官選戸長を置いた。	
1885年	明治18年	官選の戸長から地域住民の選考による民選戸長に変わった。	

1889年	明治22年	<p>豊西下村（とよにししもそん）が成立。</p> <p>・村名は従来の通称「豊西郡」の下方（南方）に位置していることから下村とした。</p> <p>市町村制実施に伴い8ヶ村を合し、山口県豊浦郡の一村とした。</p> <p>それぞれの村は大字となった。役場は伊倉に置かれた。</p>	
1891年	明治24年	<p>綾羅木戸数 160戸 451人</p> <p>有富戸数 100戸 291人</p> <p>延行戸数 63戸 189人</p> <p>稗田戸数 75戸 237人</p> <p>垢田戸数 258戸 820人</p>	「徴発物件一覧」
1914年	大正3年	<p>川中村（かわなかそん）と改称</p> <p>※この時、はじめて「川中」の名前が現れます。</p> <p>豊西中村（のちに安岡村）豊西上村（のちに吉見村）豊東下村（のちに生野村）などまぎらわしい村名を嫌って、村名を改めたいという動きが広がったために、ほぼ同時期にそれぞれの村名が改められた。</p>	